

遊んで学べるまち長久手観光戦略プラン(案)パブリックコメント実施結果

1 実施状況

(1) 募集期間

令和8年1月26日(月)から令和8年2月25日(水)まで

(2) 計画案の公表・配布

観光商工課窓口、情報コーナー、リモテラス公益施設、市ホームページ

2 意見の提出人数、件数

2名(5件)

3 意見の内容及び市の考え方

以下の表のとおり

| 意見番号 | 意見するところ | 意見内容 | 意見に対する市の考え方 |
|------|--|--|---|
| 1 | P12 基本戦略A | 長久手市内の道路を「危ないから使えない」～「安全に使える道」に改修し、ウォーキング、JOG、サイクリングで健康寿命を延ばし、「住みやすい街」を更に進めた「遊びに来たくなる遊環境」にしていく施策を早急に創りましょう | ・ご意見については、基本戦略Bの「地域資源のエンタメ化(体験プログラムの創出)」を進めるにあたって、事業の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 「遊んで学べるまち」への共感を生むPR | 東エリアを、何時、誰が行っても、誰かいる、昭和な時間、感覚が戻ったような安心出来、話ができるゆったりした時間が流れる場所にする。 | ・ご意見については、基本戦略Bの「地域資源のエンタメ化(体験プログラムの創出)」を進めるにあたって、事業の参考とさせていただきます。 |
| 3 | P12 基本戦略B 「地域資源のエンタメ化(体験プログラムの創出)」 | ござらっせからモリコロまでのエリアを改めて「長久手東」(N-East)の観光の核として自然を生かして長久手らしい、空間にする | ・ご意見については、基本戦略Bの「地域資源のエンタメ化(体験プログラムの創出)」を進めるにあたって、事業の参考とさせていただきます。 |
| 4 | P13 基本戦略D 「遊んで学べる」お出かけ情報の発信 | 東西に延びる香流川河川敷を最大限有効利用する遊びエリアにする 今ある自然を維持しながら必要最低限の手を加え安全を担保し経費の掛からない改造 綺麗な川、裸足で過ごせるフィールド、日影、水分補給場、ペットエリア併設、遊具無 World Market,English-Pod、Ageless-Field,触れ合いの出来る空間 | ・ご意見については、基本戦略Bの「地域資源のエンタメ化(体験プログラムの創出)」を進めるにあたって、事業の参考とさせていただきます。 |
| 5 | P32 地域事業者意見 P33 ワーキンググループとの議論で出てきた意見 | コンサルに頼るのではなく、まずは、地域住民が主体的に関与するプロジェクトチームの発足により進めることが必須であると考えます。 市民視点によって「長久手らしさ」を発見し、「長久手市の観光ビジョン」を共有することから、すべてが始まると思う。 私なりに「長久手市の観光ビジョン」があるので、羅列された皆さんの意見を整理できたと考えています。 私の観光ビジョンについて、是非、意見を交わし、より現実的な実効性の高い計画をプロジェクトチームとして進めることを願っています。 | ・観光戦略の推進にあたっては、(一社)長久手市観光交流協会、民間事業者、長久手市がそれぞれの役割分担をしながら、観光まちづくりを進めていきたいと考えています。 |